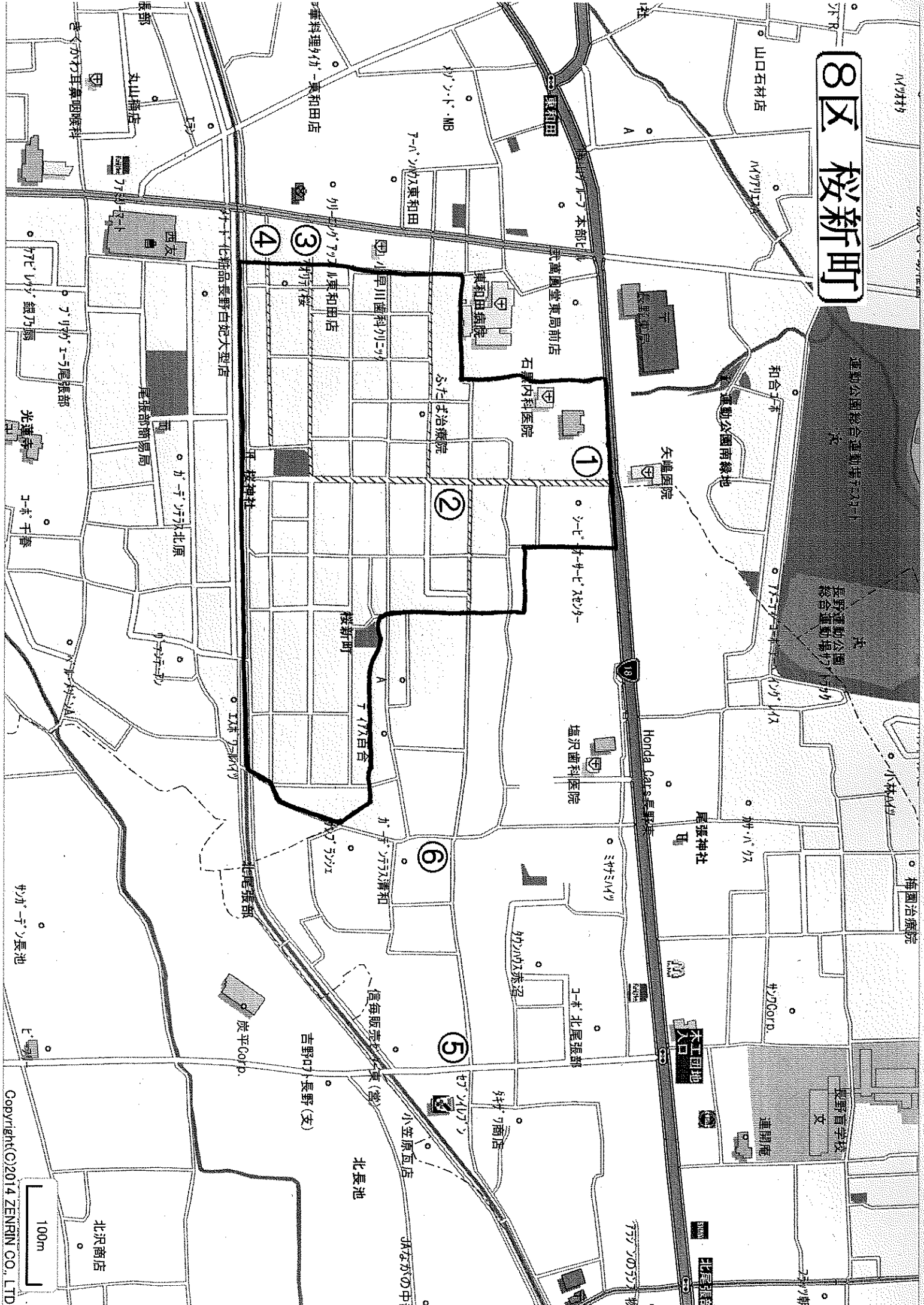


8区 桜新町



100m

＜危険な箇所とその概要＞

1. 交通上の危険箇所

- ① 道幅が若干広い、商店街から3丁目にかけての道路はスピードを出した車が国道18号線から進入するため非常に危険である。
また、交通量も年々増加しているので注意する。
- ②③④迂回の車多いため注意が必要である。
- * 町内は十字路が多く、出会い頭の事故が多発しやすい。飛び出しをしないように十分注意する。

2. 水難上の危険箇所

- (1) 町内の用水路（側溝）横の道路は、安全確認を十分にしながら通行する。
特に深い側溝について、フェンスやガードレールが設置されていない箇所もあり危険である。
- (2) 北八幡川沿いより北尾張部までの間は、フェンスが低いので飛び越えない。特に降雨の後は水量が多くなるため大変危険である。

3. 校外指導上の注意

- * 歩行・自転車ともに、交差点や曲がり角では必ず一時停止をする。安全確認を行い、飛び出しをしない。特に、ローラーの付いた靴を履いて遊んでいる児童は注意する。
- * 自転車は決められた範囲で乗り、ヘルメットを必ず着用する。
- * 過去に水難事故も発生している北八幡川には絶対に入らない、遊ばない。（小学生の釣りは禁止）
- * 町内の用水路（側溝）では遊ばない。
- * 町内の空地や空き家で遊ばない。
- * 3丁目公園内のガスボンベ設置場所柵内に入らない、遊ばない。

4. 桜新町（8区）以外での登下校時の留意点

- * ⑤の横断歩道は、信号が青になっても必ず左右の確認をしてから速やかに、横断する。交通量が多く非常に危険である。
- * 上記の横断歩道の信号機は青の時間が短いので、大勢で渡るときには信号の変わり目に注意する。
- * 朝陽支所前の歩道橋から朝陽公民館へ渡る道路は、歩道橋を降りてすぐに横断する場所なので、十分注意する。
- * 朝陽小学校付近の道路は、道幅も狭いので出入りの車などに注意する。
- * ⑥の交差点は、一時停止をせずに進入する車があるため、横断するときは十分注意する。